



郡総体優勝! おめでとう!

栄喰・海陽中学校野球部



海陽町議会だより

6月定例会

発行 徳島県海陽町議会 TEL (0884) 73-4164
編集 広報編集特別委員会 E-mail gikai@kaiyo-town.jp

Vol. **45** (2017.8)

おもな内容

委員長報告	2P
一般質問	10P
行政報告	13P

海陽町議会では、総務産業建設・文教厚生との2常任委員会、海南病院改革特別委員会を設置しています。本会議から付託された議案を6月12日、13日、14日に開催された各常任委員会で活発に審議をしました。

総務産業建設常任委員会

地方創生特区認定

委員長 原 ひろみ

6月13日開会。

条例の一部改正は、待機児童を持つ職員は、再度の育児休業を取れる特別の理由に追加するもの。

消防自動車購入は2台で、契約金額は1630万円。委員より地元業者にすれば経済効果があるとの意見があった。

繰越明許費は、一般会計11事業、特別会計2事

業が事業継続されている。

一般会計補正予算は、3億5251万円追加し、総額73億2707万円となった。

総務費は、移住体験施設整備事業に1億250万円。委員より神野地区の旧教員官舎になったのはなぜかとの質問があり、遊休公共施設の利用、他に空き家物件がない、災害防災の考慮、補助事業に適合などの説明があった。フルマラソン

大会運営費に3430万円(町負担1895万円)で、10周年記念大会となる。生涯活躍のまちづくり事業に800万円。神野地区からモデル的に取り組みを始め、若者から高齢者までが生涯安心して住み続けていける「まちづくり」を行うもの。

産業観光費は、農山漁村未来創造事業補助金3112万円は、きゅうりタウン構想のレンタルハウス建設の補助をするもの。今年の研修生は8人で、全員町内で就農をと委員より要望があった。森林環境保全支援事業に1268万円。山林境界確定と、面積測量の補助金1800万円。ホテルリビエラ長期修繕計画に350万円。

建設費は、穴喰残土処理場整備2カ所に100万円。町道板取中学校線排水路改良事業に400万円。町道神野中央線の舗装事業に3000万円。林道神野内妻線舗装事業550万円。

防災費は、消防団一斉連絡システム使用料6万円。避難路誘導灯整備事業1300万円。備蓄倉庫避難所用資機材整備に1780万円。給水袋6リットル用1000枚購入に41万円。委員より穴喰津波避難タワーに設置しないのかとの質問に、風が強いいためベンチ式ボックスタイプを設置するとのことであった。防寒具の配備も要望。

特別会計は、人事異動による人件費等の補正。上水道事業会計は、穴喰公共下水道工事に伴う上水道配水管移設補償費430万円。

概要は以上のとおりで閉会した。

海部川風流マラソン

運営費

3430万円

(参加費含む)

第10回大会 開催決定

平

成30年2月18日に開催することが決定しました。全国から2027人がエントリーした今年2月に行われた9回大会も、ランニング情報サイト内での大会評価ランキング全国1位(7月1日現在)と、ランナーから高評価を得られています。



スタート風景

神野地区から 住民主体のまちづくり



神野地区でのワークショップ

型生涯活躍のまちづくり」として、住民主体の活動を支援します。
本年度より、神野地区からモデル的に取り組みを始め、各地域へ波及するよう取り組みを行います。

海 陽町型生涯活躍のまちづくり」推進特区として、5月15日徳島県の「地方創生特区」に認定され、最長3年間の財政支援などをいただけることになりました。
海陽町における若者から高齢者までが、生涯安心して住み続けていくことができる「まちづくり」について、課題解決に向けた取り組みを地域住民とともに検討し、本町の「海陽町

**「海陽町型
生涯活躍の
まちづくり」
徳島版地方創生特区認定事業
800万円**



補修される町道

神 野橋架け替え工事により長期間国道193号を通行止めし、迂回路として利用した路面は損傷が著しく、通行に支障がある状況となっています。通行の安全を図るための舗装工事です。

**町道改良舗装事業
3000万円**



改修される旧教員住宅

神 野地区にある旧川上小学校に付随する教員官舎の大規模改修と周辺整備を行い、移住・定住者のお試し滞在施設として活用するとともに、人口減少に伴う課題解決と地域の活性化策につなげます。

**移住体験施設整備事業
1億250万円**



神野地区全景

防災で安全・安心

備蓄倉庫

避難利用

資機材整備

備

蓄倉庫3カ所、
キャンプトント

150基。穴喰津波避
難タワーに

ベンチボッ
クスを整備

し、テント・

簡易トイレ
を装備しま
す。



購入されるテントのイメージ

1780万円

避難路誘導灯整備

町

内に11カ所、24基を追加設置
予定です。バッテリー式蓄電
方式とします。



避難路看板の誘導灯

1300万円

浸水を改善

町道

**板取中学校線
排水路改良**

400万円

大

雨の都度、山
地からの水が

排水路から溢れ、こ
の付近の町道が浸水
し、通行に支障が出
ています。その対策
として、排水路の経
路を改良することによ
り、町道の浸水を
防ぎます。



排水路改良箇所

**消防団一斉連絡
システム使用料**

6万円

連

絡網で電話連絡して
いた内容を、各消防

団員の携帯電話に直接メー
ル配信できるようにしま
す。

「お詫びと訂正」

第44号に誤り
がありましたの
で、お詫びして
訂正いたします。

8ページの消防
車両

誤

「穴喰第2分団」

正
「穴喰第4分団」

進むきゅうりタウン



作業をする
「きゅうり塾生」

想」実現のため
のレンタル
ハウスを建設
する補助金
で、野江地区
に予定してい
ます。

農 山漁村未来創造事業補助金として、
27年度から、かいふ農協、県、海部
郡3町で推進している「きゅうりタウン構

3112万円

ハウス建設事業

促成きゅうりレンタル

**ハツキリさる
山の境**



境界確認状況

1800万円

活動支援事業

森林整備地域

所

有者や境界が
不明の森林に

おける、間伐の推進
や路網整備の実施の
ため、境界の明確化
事業を支援します。

文教厚生常任委員会

不妊治療費の上乗せ助成開始

委員長 三浦 茂貴

6月14日開会。

まず、海部公民館の巡視に行き、その後、順に議案の説明を受けた。

条例は1件、幼稚園保育料の条例改正であり、

同様に保育所の保育料も規則の変更があった。いずれも国の幼児教育、段階的無償化の推進に伴って保護者負担の軽減を図るための改正である。

契約も1件、海陽学校給食センターの厨房機器購入契約を締結するためのものであった。

次に繰越明許費の説明があり、その後、**一般会計**補正予算の説明に入った。

まず全般に渡って、人事異動に伴う職員人件費の補正があり、それ以外のもの

民生費381万円の主なものは、介護保険特別会計への繰出金276万円など。

衛生費119万円の主なものは、不妊治療費の助成金75万円など。

教育費4070万円の主なものは、英語教員の変更による賃金の増額33万円、旧海部東保育所の解体工事にかかる費用2330万円、コミュニティ・スクールの発足に係る報償費や需用費など34万円、船津公民館改修工事に伴う費用510万円などである。委員より

「船津公民館はどこを修繕するのか」との問いがあり、「主に屋根の葺き替え工事とトイレの改修である」との説明であった。また、「コミュニティ・スクールを宍喰小中学校に立ち上げることであるが、推進委員は何人なのか」との問いには「準備段階で決まっていないが15人〜18人くらいを考えている」とのことであった。

特別会計に入り、後期高齢者医療の補正は人事異動に伴うものの、介護保険の補正は、制度改正に伴うシステム改修委託料などである。

その他に移り、委員より「旧海部西小学校のプールが長年放

置されており周辺の環境にも悪いので、方向付けをきっちりとしてほしい」との意見があり、教育長より「早急に対応を進めていきたい」との答弁があった。また、「那佐斎場周辺のテニスコートについて管理がなされていないので、もっと住民が有効に使えるような

活用方法を考えてほしい」との要望があり、町長より「保健環境課も含めて、教育委員会の方で新しい活用方法について検討させるので、しばらく時間をいただきたい」という答弁があった。概要は以上で委員会を閉会した。



海部公民館巡視（1階）



海部公民館巡視（4階）

かいよう元気体操

54万円

運

動したいけど交通手段がない、家でもできる体操を覚えたい、体力が落ち足腰が弱ってきた、そういった方にオススメの教室です。「海陽愛あいクラブ」の講師が分館等地域に出向き、椅子に座っての筋トレ「いきいき百歳体操（徳島県理学療法士会版）」を中心に体操などの基本運動を行います。現在すでに開催中ですが、要望によりさらに2カ所追加します。奥浦地区、日山地区（予定）



かいよう元気体操（吉野地区）

少子化対策として 不妊治療に 助成金

不妊治療費 助成金75万円

体

体外受精などの医療保険が適用されない不妊治療を受けた、妻が43歳未満の町民のご夫婦に、治療内容や回数により、その費用の一部を助成します。

心を合わせて地域の子どもを育む コミュニティ・スクール 導入等促進事業



推進委員会（7月6日）

34万円

平

平成30年度より、穴喰小学校・穴喰中学校において導入予定です。今年度は、2カ年事業の最終年にあたり、推進委員会での調査研究や視察研修等を行い、円滑な導入に向けた準備を進めていきます。

有効的な土地利用のために



解体される旧海部東保育所

2330万円

旧海部東保育所 解体工事費

旧

海部東保育所を解体します。土地の利用については、スクールバスの車庫など今後検討していきます。

海南病院改革特別委員会

地域包括ケア病床 すべりだし順調

委員長 長岡 秀一郎

6月12日開会。

提出された資料のもと、平成27年度、28年度の海南病院経営収支の比較について説明を受けた。

28年度は前年度より診療報酬は約3851万円の増収となるが、当期純損失は約2574万円の見込みである。また、2月から実施している包括ケアについては、2月から4月の3ヶ月間の間で、約631万円の収入を得ている。

海部病院が新築移転中の5月3日から6日の間は、救急対象外来が74人、救急車搬送が7件、その

うち6件の入院患者があったとのこと。

その後、質疑に入り、

医師のローテーションについては海部・那賀モデル事業の中で、徳大・県立病院からの派遣を受け、窓口で外来医師のカラーンダーを配布し、住民との信頼関係をつくっており、今後、広報を通じて周知を図っていききたいとのことである。

包括ケア病床の増床に

関して、一般病床利用率50%を目標70%までとし、現在のケア病床12床・稼働率80%を、一般病床との割合もあるが、12床から15床に増床したい。実施するには人員の確保、関係する医療機関

との連携を図っていくことが必要であるとの見解を示した。併せて、終末医療の患者受け入れも進めていくということである。

当委員会も1年を経過し、その都度、委員より改革に関する指摘をして

きた。院長を中心に職員間で話し合いの場を持ち、改革・改善を推し進めてきたと思うが、今後も町民や患者の期待に応えられるよう、関係者一同が誠意を持って対応するよう要望し、委員会を閉会した。



リハビリの様子

「地域包括ケア病床」とは…

一般病棟で急性期の治療を終えた後、経過観察が必要な場合や、在宅復帰に向けたリハビリが必要な患者に、継続的な医療を提供するための病床です。

海南病院では平成29年2月に当該病床を導入し、在宅復帰に向けリハビリが必要な方に、歩行や階段昇降、トイレ動作などの訓練を実施しています。入院生活においては、理学療法士、作業療法士はもとより、医師、看護師が連携し、患者の在宅復帰や社会復帰をサポートしています。



導入した

「地域包括ケア 病床」の増収実績は？

2月 156万円

3月 241万円

4月 234万円

合計 631万円

増収

要望活動

議会のうごき

4月1日から
6月30日まで

河川氾濫防止を求め県へ！

- 善蔵川排水機場のポンプ増設。
- 大里川（四方原）、善蔵川（多良～前田）地区の改修工事
- 堆積した土砂を取り除き、河床を下げる



県土整備部「瀬尾 守 部長」



国土交通省「石川 雄一 道路局長」…海部郡3町の議長・副議長

海部道路 実現のために！！

4月

- 13日 議会広報編集特別委員会
- 19日 徳島県町村議長会役員会
- 28日 海部郡議長会定例会

5月

- 10日 議会運営委員会
- 16日 議会全員協議会
- 16日 第4回臨時会
- 25日 徳島県町村議長会役員選考会
- 28日 関西ふるさと会総会（大阪市）
- 31日 全国町村議会議長・副議長研修会

6月

- 1日 海部郡議長会要望活動（国土交通省等）
- 5日 議会運営委員会
- 5日 議会全員協議会
- 12日 第2回定例会（1日目）
- 12日 議会運営委員会
- 12日 海南病院改革特別委員会
- 14日 総務産業建設常任委員会
- 15日 文教厚生常任委員会
- 16日 第2回定例会（2日目）
- 21日 議会広報編集特別委員会
- 28日 徳島県町村議長会役員会・臨時総会
- 28日 一般国道55号・阿南安芸自動車道整備促進期成同盟会総会（田野町）

本議会での議案審議

海陽学校給食センター 厨房機器購入契約について

Q1. 厨房機器購入

〔7646万円〕



小山議員

厨房機器は全部製作するのか。
使い勝手もあるので、発注する
前に打ち合わせをお願いしたい。

奥原教育次長

建屋に合わせた寸法があるが、基本的にはメー
カーが作っているもの。

Q2. 消防団一斉連絡システム
使用料〔6万円〕



三浦議員

役場から連絡事項をファック
スで送信すると、各団員の携帯
にメールで届くシステムだが、
いつから開始するのか。

平成29年度 一般会計補正予算(第2号)

6月補正予算後の 歳入歳出予算

歳 入	6月補正	補正後	構成比率
町 税	0	6億6,935万3千円	9.1
地 方 譲 与 税	0	5,650万円	0.8
利 子 割 交 付 金	0	70万円	0.0
配 当 割 交 付 金	0	560万円	0.1
株式等譲渡所得割交付金	0	310万円	0.0
地方消費税交付金	0	1億2,380万円	1.7
自動車取得税交付金	0	950万円	0.1
地方特例交付金	0	80万円	0.0
地 方 交 付 税	0	36億4,472万9千円	49.7
交通安全対策特別交付金	0	100万円	0.0
分 担 金・負 担 金	0	6,375万5千円	0.9
使 用 料・手 数 料	0	6,957万2千円	1.0
国 庫 支 出 金	5,001万4千円	5億7,450万1千円	7.8
県 支 出 金	6,062万2千円	4億9,559万2千円	6.8
財 産 収 入	0	4,471万5千円	0.6
寄 附 金	0	70万円	0.0
繰 入 金	122万8千円	4億3,852万3千円	6.0
繰 越 金	1億1,275万3千円	1億2,881万5千円	1.8
諸 収 入	1,920万円	6,442万4千円	0.9
町 債	1億870万円	9億3,140万円	12.7
合 計	3億5,251万7千円	73億2,707万9千円	100.0

歳 出	6月補正	補正後	構成比率
議 会 費	0	7,129万4千円	1.0
総 務 費	1億5,514万5千円	12億2,376万2千円	16.7
民 生 費	381万8千円	17億1,570万4千円	23.4
衛 生 費	119万5千円	7億5,384万9千円	10.3
農 林 水 産 業 費	7,203万6千円	5億5,299万6千円	6.9
商 工 費	732万8千円	2億2,825万4千円	3.1
土 木 費	4,103万1千円	9億4,847万7千円	12.9
消 防 費	3,125万7千円	4億6,499万8千円	6.3
教 育 費	4,070万7千円	6億851万7千円	8.3
災 害 復 旧 費	0	2,720万円	0.4
公 債 費	0	7億6,478万5千円	10.4
諸 支 出 金	0	359万5千円	0.1
予 備 費	0	1,134万8千円	0.2
合 計	3億5,251万7千円	73億2,707万9千円	100.0

片田危機管理課長

システム会社と調整を進め、団員に登録の仕
方などを広報するので、多少時間がかかると思
える。



高島議員

一般の人にはメールをもらえ
ないのか。

危機管理課長

警報が発令された時、団長・副団長・分団長・
団員等にグループ分けをして連絡するように考
えている。消防団員のみ情報伝達である。

Q3. 介護予防普及啓発事業
委託料〔54万円〕



原議員

元気体操は町内で何力所して
いるのか。

中野地域包括ケア推進課長

角坂、芥附、塩深、高園、野江、櫛川、吉野、
浜崎で、あと2カ所増える予定。

介護保険特別会計補正予算



三浦 茂貴 議員

過去の質問で、勉強したい、検討するという前向きな答弁が得られたものについて、その後、どうなっているのか。

問①観光について

「新たなパンフレットの作成も検討していききたい」ということであったが検討は進んでいるのか。

過去の質問は 今どうなっているのか？

観光・情報発信・
英語教育・ふるさと納税

問②情報発信について

「お悔やみ情報や選挙結果の情報発信など、可能なものから順次掲載していきたい」ということであったが、どの情報をいつから、どの媒体を使って情報発信するのか。

問③町独自の英語教育について

「英検やTOEFLなどに対する補助も視野に入れていく」ということであったが、検定の受験料や夏休みに向けて英語村などの補助はどのようなものか。

問④ふるさと納税について

「PR活動に努めていきたい」ということであったが、今後どのようなPRを考えているのか。

答①横産業観光課長

「NPOあったかいよう」で、歴史・文化などを盛り込んだ海陽町おすすめ見所マップが、さら



新しいパンフレット

には海陽町ニューツーリズム推進協議会で、ツアーガイドのパンフレットが作成された。

答②田村住民人権課長

選挙の投票結果は、海陽町分の選挙区のみホームページ内の結果欄に情報発信している。投票開票の中間発表は来年度執行予定の町長選挙、町議会議員選挙よりテレビのデータ放送の地域情報及び、ホームページで情報提供する予定で努力していきたい。

また、お悔やみや出生・婚姻の情報は、9月1日受付分よりご家族などの承諾が得られたものについて、テレビのデータ放送の地域情報で情報発信したい。

答③奥原教育次長

今年度、英語検定の受講料の補助を行う予定である。また、小中高生を対象に英語デイクャンプを冬休みに開催する予定。

人事評価が勤勉手当に 反映されたのか？

〈総務課長〉アップダウンの
実績はなかった

であったが、金額、昇級にどの程度反映されたのか。

答 総務課長

金銭的にアップダウンの実績はなかった。

問 なぜ評価が勤勉手当に反映されなかったのか。また、この一年で職員意識変化をどう感じたのか。

答 前田町長

人事評価の最大の目的は人材育成で、そのための一つの柱が、公正・公平な人事評価の確立にある。職員には聞き取り調査もやってきたので、意識改革には随分つながっている。

答④佐藤総務課長

海陽町ふるさと納税の宣伝広告を西武池袋線の電車に載せる予定。また、ふるさとチョイスの内容を編集、印刷し、カタログとして催しなどでのPRに活用していきたい。町民や帰省者には、7月、8月の広報に広告やお礼品提供事業者の募集記事を載せてPRしたい。

問 国の地方公務員法改正により、地方公務員にも人事評価が義務付けられ、今回より勤勉手当に反映させるとのこと

問 臨時職員には、正規の職員より部署の経験が長いベテランもいるのに、ほとんど評価されない。国では同一労働同一賃金が叫ばれているが、臨時職員も人事評価して賃金に反映させる制度を導入すればどうか。

答 町長

臨時職員は仕事補助的な内容なので、正規職員のように目標等は与えてない。総合的に判断し

て、臨時職員に人事評価制度を導入するのは、今の段階では困難である。

問 海陽町奨学金貸与制度の目的の中に、将来地域の発展に有益な人材の育成を図ると明記されている。いつぐらいを目処に卒業後、地元に戻ってくる人への奨学金の免除制度を作ろうと考えているのか。

答 町長

再度、教育委員会の方でいつ頃できるか慎重に検討させる。

地元に住住する人への 奨学金返済免除は？

〈町長〉教育委員会で検討させる

特区認定を受け、どう考えるか



橋本 朗 議員

〈町長〉海陽町における生涯活躍の まちづくりを目指したもの

問 生涯活躍のまちづくり推進特区として神野地区が認定されたが、これまでの経緯、内容、そして得られる効果は。

答 戎谷まち・みらい課長 徳島版地方創生特区事業の生涯活躍のまちづくりについての事業項目が追加され、神野地区での取り組みを基にした「海陽町型生涯活躍のまちづくり」について提案した結果、認定をいただき、最長3年間の財政支援などのサポートをいただけることになった。

高齢者になっても住みやすいまちづくりについて、課題解決に向けた住民活動の取り組みを支援し、川上地域におけるまちづくりについて検討から始め、各地域へ波及するように取り組みを進めたい。

問 財政支援と法規制の緩和を同時に受けられ、有利な状態で喜ばしいが、住民負担となるよう

なことはないのか。

答 まち・みらい課長 住民が主体となつて活動していただくことが必要であり、地域住民活動にかかる負担の他は、現時点では想定していない。

問 特区認定を受け、町長として、どう考えるか。また、第二弾、第三弾はあるのか。

答 前田町長 神野地区でのモデル的な取り組み活動から、海陽町全域への波及効果が期待され、海陽町における生涯活躍のまちづくりを目指したものである。他の地域でも同様な取り組みがしてもらえよう、事業推進を行っていききたい。

まち・ひと・しごと創生総合戦略の計画を基に、人口減少を抑制し経済循環を図るなど、町の活性化に向けて第二弾、第三弾の施策を打ち出していきたい。

神野橋より上流のバラスは採取しないのか

〈建設課長〉

県は、まず下流の異常堆積解消に取り組んでいきたいとのこと

発生する残土、砂利の受け入れ地となるので、県と連携して有効に活用していきたい。

問 県がバラスの堆積調査を二年前に神野橋より下流に限定して行っていた。上流は採取の対象になっていないのはいか。二年前の桑原地区が住宅浸水したことにも関係して聞いた。

答 建設課長

問 神野柿谷残土処理場が開設され一年が過ぎるが、全く稼働していない。流域の安全を願う人々の協力の賜であるが、どう考えるか。

答 東谷建設課長 3月に三箇地区の海部川砂利掘削と搬入が行われたが、現時点ではその一回である。平成29年度は三箇地区浸水護岸の災害復旧工事の河川砂利を搬入予定である。今後も公共事業により

平成27年度に大井堰から神野堰までの間を、28年度には海部川河口から大井堰の間を調査している。平成10年にも同じ区間で調査がされているので、比較可能な同じ地点での調査であったと聞いている。県は、まず神野堰より下流の異常堆積解消に取り組んでいきたいとのことである。

東桑原地区の浸水被害を受けて知事に対し護岸のかさ上げ工事を要望したところ、昨年度より事業化され、用地調査を行っているところである。

玉笠橋の架け替えは

〈町長〉検討の時期に来ている

問 二年前に町道牟岐海南線の県道昇格と、玉笠橋掛け替えについて質問したが、ネックになっているのは何か。

答 建設課長

山林部で未登記区間が多く、所有権などの移転に時間を要することから県と町で協議を進めてきた。今後、具体的な事務処理等の検討を行ってきたい。

答 町長

地震や津波で国道55号が寸断され、玉笠橋も落橋した場合、海陽町全体が孤立する状況が想定される。このことから、神野橋の完成までには玉笠橋掛け替えの検討に入っている。ただ、橋梁延長も長く、工期や工事費も高くなるので、十分検討していきたい。

第2回定例会

議案の審議

平成29年第2回定例会は、6月12日開会、町長より次の13議案が提出され、審議の結果原案どおり可決・承認し、6月16日閉会した。

条例関係

- ・職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例
- ・幼稚園保育料徴収条例の一部を改正する条例

契約関係

- ・海陽学校給食センター厨房機器購入契約について
契約金額 7646万円
- ・契約相手 四国厨房器製造(株)鳴門営業所
- ・納期 平成29年6月17日～平成30年3月23日
- ・消防自動車購入契約について
契約金額 1631万円
- ・契約相手 徳島ボンブ(株)
- ・納期 平成29年6月17日～平成30年2月15日

承認関係

- ・平成28年度繰越明許費に係る繰越計算書の報告について

予算関係

- ・平成29年度一般会計補正予算(第2号) 3億5252万円↑
- ・平成29年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) 36万円↑
- ・平成29年度介護保険特別会計補正予算(第1号) 1427万円↑
- ・平成29年度浅川公共下水道事業特別会計補正予算(第1号) 36万円↓
- ・平成29年度穴喰公共下水道事業特別会計補正予算(第1号) 50万円↑
- ・平成29年度神野農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号) 60万円↑
- ・平成29年度海部簡易水道事業会計補正予算(第1号) 28万円↑
- ・平成29年度上水道事業会計補正予算(第1号) 430万円↑

第3回臨時会

議案の審議

平成29年第3回臨時会は、3月29日開会、次の1議案が提出され、審議の結果原案どおり可決し、同日閉会した。

契約関係

- ・平成28年度町道海南柿谷線神野橋道路改良工事変更請負契約について
変更前工期 平成28年6月21日～平成29年3月31日
変更後工期 平成28年6月21日～平成29年6月30日

第4回臨時会

議案の審議

平成29年第4回臨時会は、5月16日開会、次の議案が提出され、審議の結果原案どおり可決・承認し、同日閉会した。

承認関係

専決処分の承認(条例)

- ・税条例等の一部を改正する条例
- ・過疎地域の指定に伴う町税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例
- ・国民健康保険税条例の一部を改正する条例
- ・介護保険条例の一部を改正する条例

専決処分の承認(予算)

- ・平成28年度一般会計補正予算(第7号) 3億7190万円↑
- ・平成28年度国民健康保険特別会計補正予算(第5号) 2721万円↓
- ・平成28年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号) 236万円↑
- ・平成28年度介護保険特別会計補正予算(第4号) 828万円↓
- ・平成28年度浅川公共下水道事業特別会計補正予算(第3号) 100万円↓

契約関係

- ・平成28年度海部公共下水道事業特別会計補正予算(第4号) 50万円↓
- ・平成28年度穴喰公共下水道事業特別会計補正予算(第3号) 252万円↓
- ・平成28年度神野農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号) 84万円↓
- ・平成28年度川西農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号) 10万円↓
- ・平成28年度日比原農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号) 90万円↓
- ・平成28年度漁業集落排水事業特別会計補正予算(第3号) 149万円↓
- ・平成28年度川西簡易水道事業特別会計補正予算(第3号) 120万円↓
- ・平成28年度川上簡易水道事業特別会計補正予算(第5号) 58万円↓
- ・平成28年度鉄道経営安定基金特別会計補正予算(第1号) 2500万円↓
- ・平成28年度町道海南柿谷線神野橋道路改良工事変更請負契約について
変更前請負金額 1億2497万円
変更後請負金額 1億3548万円
- ・平成29年度(日28線)海陽学校給食センター新築工事請負契約について
契約金額 3億1177万円
- ・契約相手 (株)北島コーポレーション
- ・工期 平成29年5月17日～平成30年3月16日
- ・町営バス車両購入契約について
契約金額 963万円
- ・契約相手 谷崎自動車整備工場
- ・納期 平成29年5月17日～平成30年1月19日
- ・塵芥車車両購入契約について
契約金額 1141万円
- ・契約相手 谷崎自動車整備工場
- ・納期 平成29年5月17日～平成30年2月28日

予算関係

- ・平成29年度一般会計補正予算(第1号) 6056万円↑

徳島版地方創生活特区事業に 海陽町が認定

町長 前田 恵

上下水道料金4月分の引き落としができなかったことについて、あらためて関係者皆様方にお詫び申し上げます。今後は再発防止に努めるとともに、なお一層気を引き締めて職務に邁進してもらいたい。

ふるさと納税は平成29年度より運営委託しており、返礼品は総務省の指導により30%以内で行っている。平成28年度は寄付件数108件、寄付金額278万5000円であった。

平成30年2月18日に開催が決定した。第10回ということで、記念大会になるような企画を考えていきたい。

税務課職員の徴収努力

と、町民の方の納税意識の向上により、平成28年度は27年度を上回る徴収実績であった。また、28年度における滞納整理機構の収納状況は、74.49%の徴収率となっている。

穴喰地区地域防災公園

基本設計委託業務については、5月までに現地の測量業務を完了した。今後、ボーリング等地質調査のち、造成基本設計に入っていく。造成工事山切りに伴い発生する残土を有効活用するため、残土による盛り土造成地の計画・選定を進めていく。

いずれにしても、防災公園の進捗状況が海部道路のルート決定・都市計画決定等、すべてのことに影響を及ぼす。迅速に

スピード感を持って、集中的に進めていかなければいけない。

集中豪雨・大雨時の対応

策として要望していた排水ポンプ車は海部郡内に配備され、海部郡内各町より要請があった場合、迅速に対応したいということである。

現在休園中の恵の園保育所は、平成30年度に廃園届を提出する予定。施設は解体し、土地は町に返還する方針だが、工事費負担が2000万円かかることと、負担後の経営についても懸念される。平屋園舎を町に寄付してもよいとの意向もあり、寄付検討会を開催し方針を決定したい。

6月8日に平成29年度のきゅうり塾の開校式があり、今年は8人の研修生であった。家族を含めると13人の方が海陽町に移住してくださった。きゅうりタウン構想

実現のため、レンタルハウス建設事業費を計上しているが、塾生がきゅうり農家として取り組んでいくために、まだまだハウス建設が必要になってくる。町としても可能な限りの補助・協力をしていきたい。

ホテルリビエラし

くいは築後20年を経過しており、大規模改修が必要な時期にきている。そのため、施設の長期改善計画を策定するため、委託業務費を計上している。

海南病院について、4月

から週2日勤務してい



DMVわくわくイベントオープニングセレモニー (2017.7.16)

ただいている川村医師は、すべてのことに積極的に取り組んでいただいており、患者様からもお褒めの言葉をいただいている。

経営内容については、地域包括ケア病床は順調に推移しているが、厳しい状況に変わりはない。

海部川風流マラソン大会は、

給食センター起工式挨拶 (2017.6.3)

徳島版地方創生活特区事業の生涯活躍のまちづくり事業として、海陽町が県版特区に指定された。神野地区で空き家や遊休公共施設を活用し、交流拠点や移住者向けの住宅整備などを行っていく。

行

政

報

告



個性が光る自慢の扇子と笑顔

活動内容を教えてください。

毎月2回木曜日に松原集会所で、福井千賀子先生の指導を受けています。若い人から熟年の人まで、楽しく語り合いながら活動しています。季節の野菜や果物、花などを葉書や色紙、扇子などに描いています。また、四季折々の行事には関連した小物を作るなど、楽しい時間を過ごしています。そして、作品は海陽町文化祭に出品します。

「絵手紙は下手でもいい、下手がいい」とも言います。一緒に楽しみませんか？欠員が若干ありますので、ご希望の方はご連絡ください。



何色が栄えるかな



みんな真剣です

海陽町のいいところは？

豊かな自然に囲まれて、心あたかい人情味にあふれた人たちの中で生活できる場所。

海陽町に対する要望はありますか？

文化村の道路脇に、せっかくきれいにサツキの花が咲いているのに、草の中では残念な気がします。文化館をよく利用しているので、気になっています。

議会だよりを読んでいますか？

もちろん、必ず読んでいます。



(小山)

議会だよりも、審議の内容を分かりやすく町民のみなさんにお伝えすることで、その動きを少しでも実感していただければと思います。これからも創意工夫を重ね、みなさまに親しまれる広報誌を目指してまいります。みなさまからのご意見・ご要望をお寄せいただければ幸いです。

今回本町は、徳島県版「地方創生特区」の指定を受けました。議会と行政が共に、生涯活躍のまちづくりの実現に向け、さまざまな事業を推進し、そして、課題解決に向け取り組んでまいります。

今年も、早半年が過ぎ、雨の多い季節となりました。近年では、頻繁に全国各地で豪雨災害が発生しています。私たちも日頃から、全町一体となって、災害に対する備えを心掛けたいものです。

編集後記